

くるりん通信

9,10月

2015年
VOL.03
秋号

発行元：安曇野市市民生活部地域づくり課 市民活動センター「くるりん広場」
〒399-8303 長野県安曇野市穂高 6658 番地 ☎0263-82-1922

特集

地域づくりは お互いさまの活動

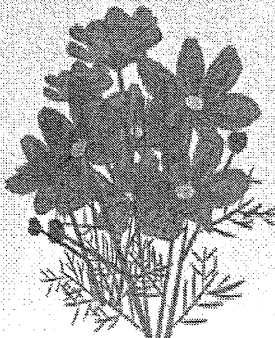


活かそう！
シニアパワー
『導入編』

去る8月31日市役所本庁舎で「くるりん講座27」第3回を開講しました。
講師と案内役には社会福祉協議会よりボランティアコーディネーターの山岸
久美子さんを招き、講話とワークショップを行ないました。

【contents】

シニアパワーとは？
ボランティアと市民活動
パーソン&パーソン
ワークショップから



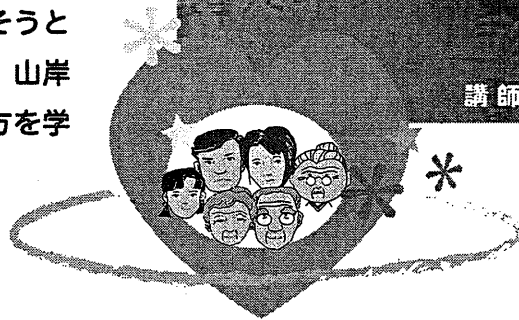
市民活動センター

Report くるりん講座 27

『地域づくりはおたがいさまの活動』をメインテーマに、中高年の皆さんのパワーを地域に活かそうと3回シリーズで始まった「くるりん講座27」。山岸さんの鮮やかな進行で、地域活動への関わり方を学ぶことができました。



講師：山岸久美子さん



シニアパワーとは？

シニアとは、『ベテラン』、『達人』、『上級者』として尊敬される立場の方々です。特に定年退職された方々は、その育んで来た豊富な人生経験や知識は大変なパワーです。是非、今度は地域のために活かしてほしいと思います。

ボランティア活動と福祉

◆ボランティア (Volunteer) とは…

「誰もが幸せに暮らすことができる社会をつくるために、自分のできることを考え、自分から進んで活動する人」のことをいいます。

◆「福祉」とは…

とかく、高齢者や障がいのある方々の支援をしたりお世話をしたりする、何か「特別なこと」をすることを「福祉」とイメージしている方が一般に多いようです。

こうした特別な事柄だけを扱うことが福祉ではなく、

③だんの ④らしの ⑤あわせ

日常のなにげない暮らしや生活をいかに幸せで豊かなものにするかを考え行動すること、それが『福祉』の大切な役わりです。

市民活動とボランティア活動

◆市民活動＝社会的な役わりを意識した行動

社会的な役わりとして、3つの原則がとらぬかれている。

自発性、非営利性、公益性

◆ボランティア活動＝個人の思いを表現した行動

個人の思いの発露としては

自主性、主体性、社会性

無償性、創造性、先駆性…など


市民活動とボランティア活動は、方向性や活動のありかたにおいても、親和性がとても高いことがわかります。ひとり一人の思い(ボランティア精神)をすくいあげ、ゆるやかな連帯に紡ぎ上げていくことが『市民活動』です。

◆NPO (Non Profit Organization)＝非営利活動組織

「民間非営利組織」市民が主体となり、自発的、継続的に社会貢献活動を行なう営利を目的としない組織の総称です。


お互いさまの活動


私たちは誰でも『助けたい』という心を持っています。支え合いというのは、あなたの「できること」と「できないこと」を周りの人と交換する作業です。


*『くるりん講座27』活かそう  シニアパワー『仲間づくり編』は11月開講予定です。


Person & Person


(参加者自己紹介)


Mさん  **豊科在住** Uターン後市民活動に参加。「あずみ野ふるさと応援団」の活動をしている。

Uさん  **明科在住** 「いいまちつくろう会」を主宰。区長歴8年、区長会長も歴任。


Eさん  **明科在住** 「協働のまちづくり」に関わる。区長経験者、里山保全などの活動をしている。


Kさん  **堀金在住** 元市職員、地域のために貢献できることをしたいと参加。


Tさん  **穂高在住** Uターンしてまだ3ヶ月で何も分からない。安曇野のことを知りたくて参加。


Aさん  **三郷在住** 母親を介護している。ボランティアがしたいと思い参加。


 男性  女性


Tさん  **三郷在住** 退職後、地域を中心に「安心コール」の活動をしている。

Hさん  **豊科在住** 退職後、現在区長をしているが地域のことで知らないことが多い…と参加。

Hさん  **豊科在住** 退職後、現在協働コーディネーター、評価委員。グループ活動も行い慰問などを実施。

Kさん  **豊科在住** 助産婦、何かしてみたくて参加

Yさん  **豊科在住** 介護福祉関係の団体代表。地域で見守る仕組みづくりに取り組んでいる。

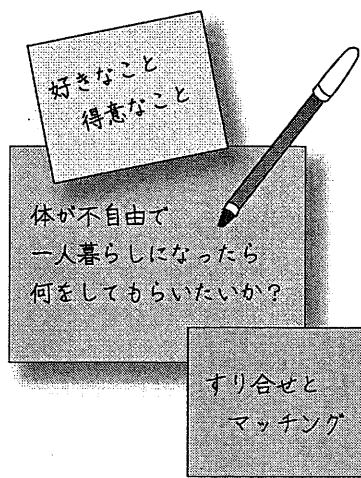
Kさん  **三郷在住** 何かしてみたい、知りたくて参加

Mさん  **豊科在住** 外国人に日本語を教えている。



身近な「お互いさま」スピリット

(ワークショップ……※KJ法を使って見えてきたカタチ)



♥ワークショップの結果、たいがいのことは「お互いさま」で解決できることがわかってきました。

♥仰々しく、わざわざ行なうのではなく、たとえば「何かのついで」「おすそわけ」で訪問することは、「配食」「声かけ」「安否確認」が出来ること。このさりげない親切が「お互いさま」の一例…とアドバイス。

(山岸さん)

(※) KJ法…カードを使ってさまざまな意見、情報を出し合い、問題解決の糸口を探っていく手法

市民主体のまちづくりへ

『明科いいまちつくろう会』が、地域課題解決に向けての『安曇野モデル』になっていけば理想だ…

内川さんは、県職員としての経験や見識を見込まれ、退職後の平成17年から24年まで区長（平成23,24年は市の区長会長）を務めました。この期間は合併後の安曇野市が、隣組や区を中核にした行政主導の「住民自治」から、「市民による協働のまちづくり」へと意識改革をすすめる時期でもありました。

次々と変革が求められる行政からの要請に対し、内川さんは「行政」と「市民」の間で苦心してきた経験を持ちます。

協議資料を束ねた分厚いファイルケースを手に、内川さんは『明科いいまちつくろう会』発足の経緯を熱く語ります。

◆発足の経緯

平成24年明科公民館の建替えに伴い「未来の明科地域に思いをはせて」を合言葉に、どのように公民館を活用しようかという、30名からの有志による検討会が発足。構成は地区役員経験者や自治サークルや一般市民、のちには明科高校の



会合を重ね平成25年1月には「リーダー会」なる実行組織ができ、4月には「明科いいまちつくろう会」として船出しました。



「明科いいまちつくろう会」代表
内川 勝治さん

◆活動内容

「安曇野あやめまつり協力事業」公園内除草作業など

年間を通じての清掃美化への協力

「いいまちサロン」交流、親睦、学びの場、月1回開催

「ウォーキング」明科の歴史・文化を探索する… など

自治会活動の枠にとらわれない、明科地域の一体感を醸成しようとする協働の試みです。内川さんは、その取りまとめ役、推進役です。

このように『明科いいまちつくろう会』は、「住民自治」をベース基地に、4年の歳月を重ね「市民による協働」を具現化した市民活動団体なのです。

ラブリー♥明科を顔面に浮かばせながら、行政事情にも精通した内川さんは、当会を育て協力者を増やすべく、地域課題解決に向け今日も奮闘しています。

【くるりん講座27】第4回のお知らせ

市民活動がひらく地方創生

講師

平澤 忍さん

(長野県企画振興部総合政策課)

日時 **10/22木**
18:30~20:30

◆会場 大会議室 東 (安曇野市役所新本庁舎 4F)

◆参加料 無料 (申込不要)

「市人口ビジョン (案)」

「市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (案)」への意見を求めます!

安曇野市のまちづくりの将来を左右する大切な施策になります。安曇野市 HP をご覧いただき積極的なご意見をお寄せください。

募集期間

平成27年9/10(木)~同年10/9(金)